

## 総務振興課

- 交流人口の拡大に向けた宇城地域の魅力発信を強化！【総務振興課】
- 三角地域の賑わいづくりが活発化！【総務振興課】

## 保健福祉環境部

- 宇城地域での安全・安心な暮らしの実現を目指して！  
～第8次保健医療計画(宇城圏域編)の策定～【総務福祉課】
- みんなで健康寿命をのばそう！  
～くまもとスマートライフプロジェクト応援団への加入促進活動～【保健予防課】
- 「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用についての正しい知識を普及・啓発  
～6.26ヤング街頭キャンペーン・薬物乱用防止大行進の実施～【衛生環境課】

## 農林部

- 先進的な樹園地整備の計画的な推進～全国トップレベルの優良ミカン園の整備による担い手の育成～  
【農地整備課】【農業普及・振興課】
- 全国的な農業関係表彰の受賞が相次ぐ～宇城地域の農業振興に貢献～【農業普及・振興課】
- 宇城農業を支える排水機場整備の推進～暮らしを守り、まちを支え、稼げる農業へ～【農地整備課】
- タイワンリスの根絶に向けて大きく前進～世界初の快挙を目指すチーム宇城の取組み～【林務課】

## 土木部

- 交通量が多い通学路の安全確保と観光資源の魅力向上に寄与  
～国道218号(霊台橋)を含む歩道整備工事が完了～【維持管理調整課】
- 美里町永富地区の民家や高齢者施設を土砂災害から守る  
～中園川砂防堰堤及び溪流保全施設が完成～【工務課】【用地課】
- 宇城市東部の円滑な交通ネットワークの形成に向けた道路整備事業の推進  
～県道下郷北新田線(北部田工区)のバイパスが完成～【工務課】【用地課】

## その他

- 働きやすい  
職場環境づくりの推進

## 交流人口の拡大に向けて宇城地域の魅力発信を強化！

音声ガイド「うと・うき・みさとスマートガイド」及び宇城地域観光パンフレットの制作や、熊本市圏での「うと・うき・みさとマルシェ」の開催、豊富な「食」と「食」に関する体験を組み合わせた新たな観光モデルコースの造成、地域に多く残る石橋群を活かしたフットパス、メディアを活用した宇城の窯元めぐりの広報など、様々な取組みにより宇城地域の魅力を発信。

また、交流拡大が見込まれる台湾からの誘客を促進するため、台湾を学ぶセミナーの開催や、音声ガイド・パンフレットの多言語化などの取組みを進めた。



<「食」を楽しむツアー>

<台湾セミナー>

## 三角地域の賑わいづくりが活発化！

世界文化遺産三角西港では、一流シェフとパティシエによる規格外食材を使った「もったいなかレストラン」や、デジタル技術を活用したくまモンとのコラボ、地元小学校(三角小・万田小)による交流学习など、様々な取組みにより賑わいを創出。

また、三角東港では、東港広場をゴール地点としてJR三角線を使ったランニングイベント「宇土半島うまかもんマラニック」を開催。さらに、JR九州のにぎわいパートナーに選定された(株)シークルーズにより定期的(月1回)なマルシェイベントが開催されるなど、賑わい創出及びJR三角線の利用促進に繋がる取組みが活発化。



<もったいなかレストランin三角西港>

<三角東港マルシェ>

## 保健福祉環境部

### 宇城地域での安全・安心な暮らしの実現を目指して！

～第8次保健医療計画(宇城圏域編)の策定～

4年ぶりに対面で開催した宇城地域保健医療推進協議会における2回の審議を踏まえ、来年度から6年間の宇城圏域における保健医療施策の基本的な計画である「第8次熊本県保健医療計画(宇城圏域編)」を策定した。



<宇城地域保健医療推進協議会>

### みんなで健康寿命をのばそう！

～くまもとスマートライフプロジェクト  
応援団への加入促進活動～

宇城圏域は、健康づくり活動の実践に協力いただく、「スマートライフ応援団」が他圏域と比較して少ない状況にあったが、保健所を挙げた加入促進活動を行い、応援団数を大幅に増加(51団体⇒85団体)した。

更に、熊本県建設業協会宇城支部の協力を得て、会員の皆様と健康づくりに関する意見交換や講演の実施に繋がった。



<宇城支部での講演等>

### 「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用についての正しい知識を普及・啓発

～6.26ヤング街頭キャンペーン  
・薬物乱用防止大行進の実施～

4年ぶりとなる薬物乱用防止「6.26ヤング街頭キャンペーン」を、7月1日に開催。その一環として、初めて、ボーイスカウト、地元高校生、薬物乱用指導員等、総勢45名によるパレード～薬物乱用防止大行進～を実施した。



<薬物乱用防止大行進>

## 先進的な樹園地整備の計画的な推進

～全国トップレベルの優良ミカン園の整備による担い手の育成～

宇城市三角町で実施した県営大口地区畑地帯総合整備事業（H14～18）が、農業農村整備優良地区コンクールにおいて「農村振興局長賞」を受賞（3月）。柑橘栽培における農業生産の拡大・多様化による収益の増大、担い手への農地の集積・集約の加速化の取組みが評価されたもの。

今回の受賞により、県内外からの視察研修に宇城地域振興局と地元土地改良区が連携し対応（8月:津奈木町議会、11月:津奈木町認定農業者会、12月:大分県庁、2月予定:山口県農業者）。

また、近接する大口西部地区（H28～実施中）では、全国的にも珍しく県内初の取組みとして、低湿地の水田を畑地に転換させ、新たな樹園地として整備を進めている。



<大口西部地区施工状況>



<津奈木町視察対応状況>

## 全国的な農業関係表彰の受賞が相次ぐ

～宇城地域の農業振興に貢献～

- ①大日本農会農事功績表彰（総裁：秋篠宮皇嗣殿下）において、宇城市の中田純一氏・中田康子氏ご夫妻と、同市の黒木隆氏が緑白綬有功章を受章（11月）
- ②豊かなむらづくり全国表彰事業において、宇城市の三角サトウキビ活性会（会長：高濱希好氏）が農林水産大臣賞を受賞（11月）
- ③熊本県農業コンクール大会「地域農力部門」で、宇城市の有限会社肥後あゆみの会（代表取締役:澤村輝彦氏）が秀賞(最高賞)及び農林水産大臣賞を受賞（R5.1月）
- ④熊本県茶品評会茶園の部で、美里町の松井義博氏が農林水産大臣賞を受賞(R5.2月)



<大日本農会農事功績表彰>



<熊本県農業コンクール大会表彰>

## 宇城農業を支える排水機場整備の推進

～暮らしを守り、まちを支え、稼げる農業へ～

農地等の湛水を防ぐため、管内には排水機場が31箇所を設置されているが、設置後30年以上経過した排水機場が18箇所あり、全体の約6割を占めている。

そのため、計画的に更新整備を実施中で、令和5年度は4地区の整備に取り組んだ。

- ①松原地区（宇土市）は県内の排水機場の中でも大規模な施設であるが、令和8年度の供用開始を目指し基礎杭工事を行った。
- ②網田地区（宇土市）と③益南地区（宇城市）は、既設排水機場の建屋撤去及び電気・ポンプ設備工事を実施し、令和6年度に供用開始する見込みとなった。
- ④砂川地区（宇城市）は、令和9年度の供用開始を目指し、12月議会での承認を経て工事契約を行い基礎工事に着手予定。



<松原地区 基礎工事(杭打設)>



<工事着工予定の砂川地区>

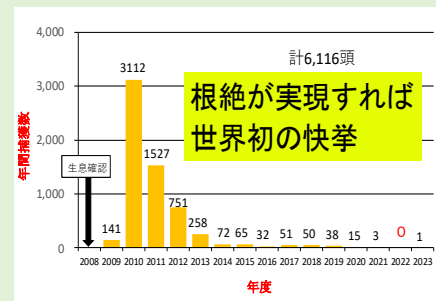
## タイワンリスの根絶に向けて大きく前進

～世界初の快挙を目指すチーム宇城の取組み～

宇土半島に生息し、農林業や生態系に重大な影響を及ぼす特定外来生物タイワンリスについて、宇土市、宇城市、県、研究者等で作る連絡協議会（事務局：宇城地域振興局）によるこれまでの取組みの結果、直近2年間の捕獲頭数はわずかに1頭となり、一時約6千頭まで増加した個体の根絶が間近となった。（令和7年度中の根絶宣言を目標：今後捕獲がなければ令和7年度中の根絶宣言を予定）



<タイワンリスの被害状況>



<捕獲頭数の推移>

## 交通量が多い通学路の安全確保と 観光資源の魅力向上に寄与

～国道218号（霊台橋）を含む歩道整備工事が完了～

平成30年度に着手した国道218号（霊台橋）を含む歩道整備工事（延長55m、幅員2m）が完成し、3月4日に開通式典の開催及び供用を開始した。

歩道整備により児童生徒の通学の安全・安心が確保されるとともに、隣接する石橋「霊台橋」への観光客の誘客効果も期待される。



< 開通式典の様子 >

## 美里町永富地区の民家や高齢者施設を土砂災害から守る ～中園川砂防堰堤及び溪流保全施設が完成～

平成18年着手にした中園川の砂防堰堤1基、溪流保全施設約185mが令和5年10月に完成。

これにより、過去に梅雨前線豪雨で被害が発生した人家及び老人福祉センター等における土砂災害の未然防止と安全性の向上が図られた。



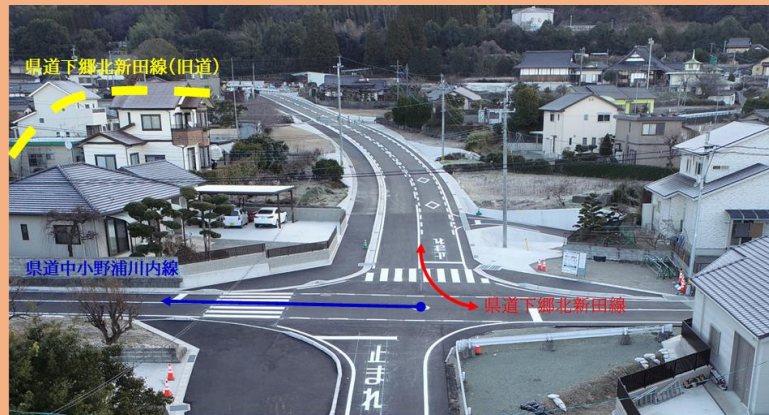
< 完成後の状況 >

## 宇城市東部の円滑な交通ネットワークの 形成に向けた道路整備事業の推進

～県道下郷北新田線（北部田工区）のバイパスが完成～

平成24年度に着手した下郷北新田線（北部田工区）のバイパス（全体0.37km）が完成し、3月に供用を開始した。

狭隘な旧道部分では車両の離合や歩行者の安全確保が課題であった。バイパス化し車道・歩道を整備したことにより地域の交通の利便性が向上した。



< 完成後の状況 >

## その他

### 働きやすい職場環境づくりの推進

今年度のストレスチェック（職場のストレス・健康リスク）において、当局職員のストレス度は、全国及び県庁平均と比較しても低い状況にある。

当局では、衛生委員会等を通じた時間外勤務縮減・休暇取得の働きかけや快適な執務環境づくりはもとより、家庭等の個々の事情に配慮しながら、一方で一部の職員に負担が偏らないようきめ細かな災害待機シフトの編成を行うなど、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。